

【レポート】

2月15日（日）に、親子で楽しみながら学べる環境学習イベント「まなぼう・つくろう・そなえよう！防災キッズチャレンジ」を開催しました。

このイベントは、「地球にやさしくすること」と「自分や家族を守ること」の両方を体験しながら楽しく学んでもらうことを目的に企画しました。

当日は、親子9組22名の皆さんにご参加いただきました。



定員を大きく上回るお申込みをいただき、とても関心の高いイベントとなりました。

まず、津波・高潮ステーションでは、ボランティアガイドさんに案内していただきながら、津波や高潮がどのように起こるのかを映像や体験を通して学びました。





シアタールームでは、音や映像で津波をリアルに体験。

「こわい！」「すごい！」と声をあげながらも、みんなとても真剣な表情で見っていました。



また、防災リュックの中身や防災食も見て、「こんなもの入れるんだ！」「おいしそう！」と親子で話し合う姿が印象的でした。



次は、大阪府立江之子島文化芸術創造センターの会議室に移動してリサイクル工作タイムです。

工作の前に、江戸時代の人たちがゴミをほとんど出さず、物を大切に用いていたお話を聞いていただきました。

そのあと、牛乳パックと着物のハギレを使って、「災害用伝言ダイヤルのカード」や「ばんそうこう」を入れるカードケースを作っていました。

布の柄は一つひとつちがうので、「どれにしようかな？」と迷いながら選ぶ時間も楽しいひとときでした。



最後に、もしもの時に役立つ安否確認サービスのお話を聞いていただき、防災フードをプレゼントし、その試食もしていただきました。

「おいしい！」「これなら食べられる！」と、子どもたちも満足でした。



アンケートからは、「防災って大切なんだ」「環境のことをもっと知りたい」という気持ちが伝わってきました。

今後は、見学できる施設を増やしたり、工作の内容をさらに楽しくしたりしながら、親子でいっしょに学べる環境・防災イベントをもっと充実させていきたいと思います。

ぜひ、次回のイベントもお楽しみに！